

第1班 緑化・景観G

2021. 4. 25 全体会報告

新年度第1回の4月は一

1. 今年度の取組について

○達成したい目標の共有

いつ頃までに、何を
□花壇コンテナ□ベンチの新設時期など

○そのためにクリアするべき課題の共有

①お金のこと

②調整が必要な人

③取組を進める体制

④活動の発信

など

今年度の取組について

民間の補助金 東京都まちづくり公社 まちづくり施設整備費

- ・ まちづくり活動により行う公園や道路等の公共空間及び自由地上の空間（公共空間に準じる空間）を整備するために係る設計費、工事費、工事管理費、器具及び材料費用等を助成するもの。
- ・ 助成金額：500万円まで
- ・ 支援の要件：住民グループ以外への説明会等開催、
影響範囲内住民の2/3以上の合意、
土地所有者及び自治体の同意、
維持管理計画の提出
- ・ 助成金の支払いは後払いになる

今年度の取組について

八王子市の補助金 市民企画事業補助金制度

- ・ 補助金額は

- (1) 必要な経費の2分の1以内で、上限は500,000円。

- (2) 2回目以降は対象事業費の3分の1以内（上限500,000円）

- 又は前回交付決定額の80%（上限500,000円）のいずれか低い額。

- ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は(1)とする。

- ・ 補助回数は、同一の事業に対して3回まで補助金交付の申し込みを

- 行うことが可能

- ・ 応募受付期間が2/10～3/10で今年度分は終了している

今年度の取組について

	メリット	デメリット
民間の補助金	<ul style="list-style-type: none">・ 金額は大きいものがある・ 申請のタイミングが柔軟 そうなものが多い（要確認）	<ul style="list-style-type: none">・ 住民の合意形成を図る必要がある場合がある・ 後払いのものがある
市の補助金	<ul style="list-style-type: none">・ 3年間までは継続して申請することが可能	<ul style="list-style-type: none">・ 申請するのが来年になる
クラウドファンディング	<ul style="list-style-type: none">・ 調達金額は自分たちで設定できる・ 支援してくれる人＝ファンの創出につながる	<ul style="list-style-type: none">・ 目標が達成できなかった場合、資金調達はできない・ 設定の難易度がやや高い

今年度の取組について

①お金のこと 番外編 花の苗の購入などに使えるような補助金

東京都都市緑化基金 花壇・庭づくり活動支援事業

- ・ ボランティア団体等による公共的な場所での花壇や庭づくりなど
に対して、最大 3 年間で 20 万円（初年度最大 10 万円、2・3年
目 各々 最大 5 万円）の助成金を交付
- ・ 緑化活動に使用した材料の購入費に使用可能（花や樹木の苗、
花の種、土、肥料、剪定鋏、ホース、プランター等の消耗品）
- ・ 申請の締め切りは例年は8月末

今年度の取組について

○クリアすべき課題について ②調整が必要な人

- **花壇の会** 4/24に会長の永野さんにこれまでの経緯などをご説明する予定
- **ボランティアの方** 節子さんから情報共有いただくのでOK？
- **まちづくり協議会2班（駅前活性化）** シンボルについては一緒に考えることになるかも？時期は未定
- **まちづくり協議会全体** ゾーニングまで全体会で報告済。具体のプランも含めてどのように合意形成をしていくか、段取りが未定
- **町会** まちづくり協議会として合意形成ができれば、説明？
- **八王子市** 土地所有者なので説明はマスト
- **京王電鉄**

めじろ台まちづくり協議会

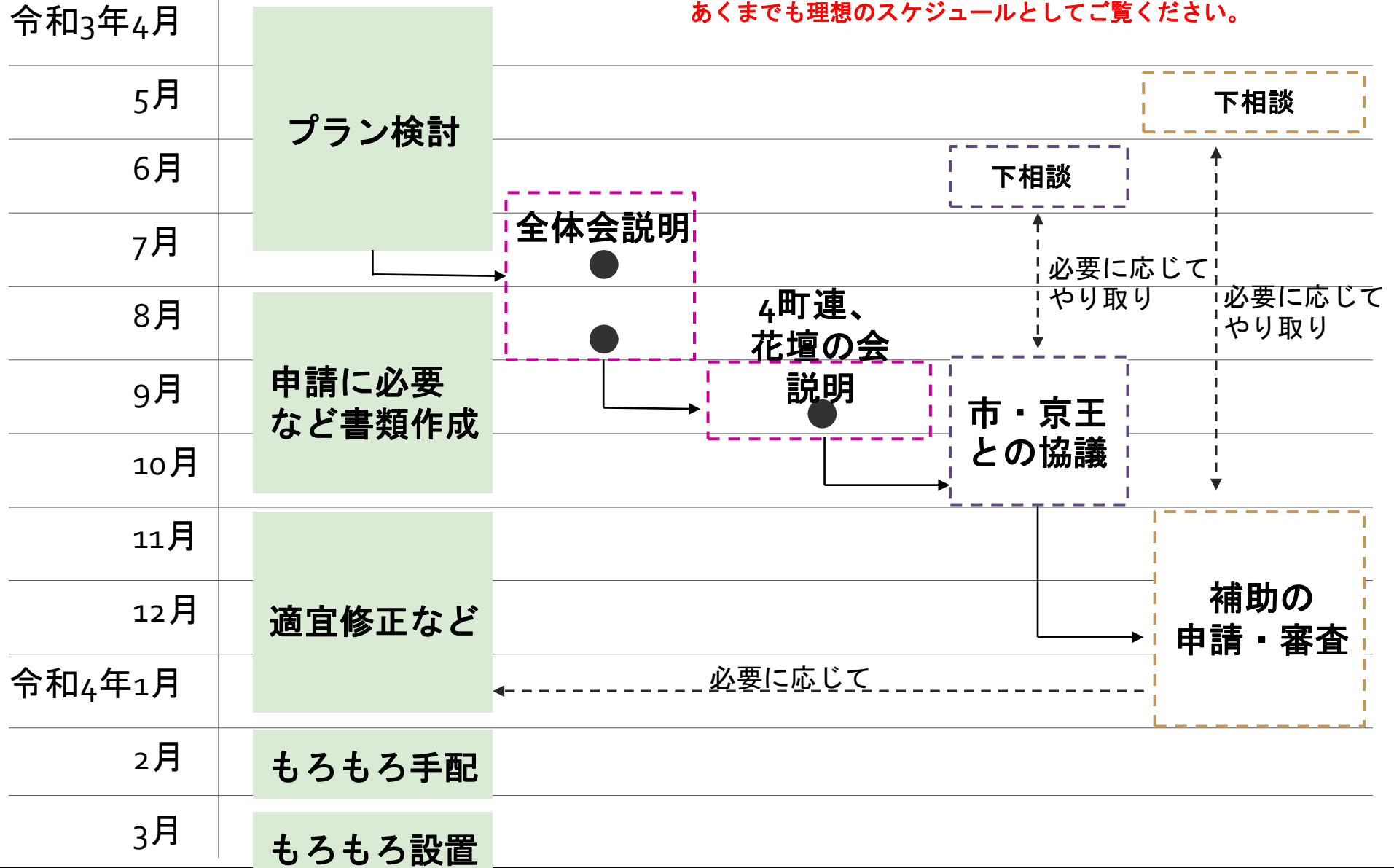
緑化・景観G

2021年4月25日（日）全体会

1. 今年度の検討スケジュール
2. 直近でやった方がよい作業の確認

1. 今年度の検討スケジュール案（民間の補助を申請する場合）

※申請や協議など、どれくらいかかるか分からない部分があります。
あくまでも理想のスケジュールとしてご覧ください。



1. 今年度の検討スケジュール案（プラン検討だけ）

5月

- 駅前広場での現地調査
- 各人のプラン案アイデア出し
- 事例見学（緊急事態宣言等々が発令されていて、集まっ
てのミーティングができない場合）

6月

- ベンチ、プランターなどはどんなものか进行调查検討
- 案の取りまとめ

7月（全体会まで）

- 案の取りまとめ

2. 直近で取り組んだ方が良さそうなこと

- **女性メンバーの皆さんで検討された図面のCAD化**
(どなたか学生メンバーの方にお問い合わせできると大変ありがたいです...!)
 - **詳細な現地調査**
(集会してのプラン検討と併せて、メンバーが揃ってできると望ましいが...)
 - **参考にしたい事例探し**
(可能であればみんなで見に行き、現地の様子を共有できると良いが...)
 - **ベンチやコンテナなど具体のモノの情報集め**
 - **女性メンバー以外の皆さんによるプラン提案**
(考えてみたい方がいる場合)
-など

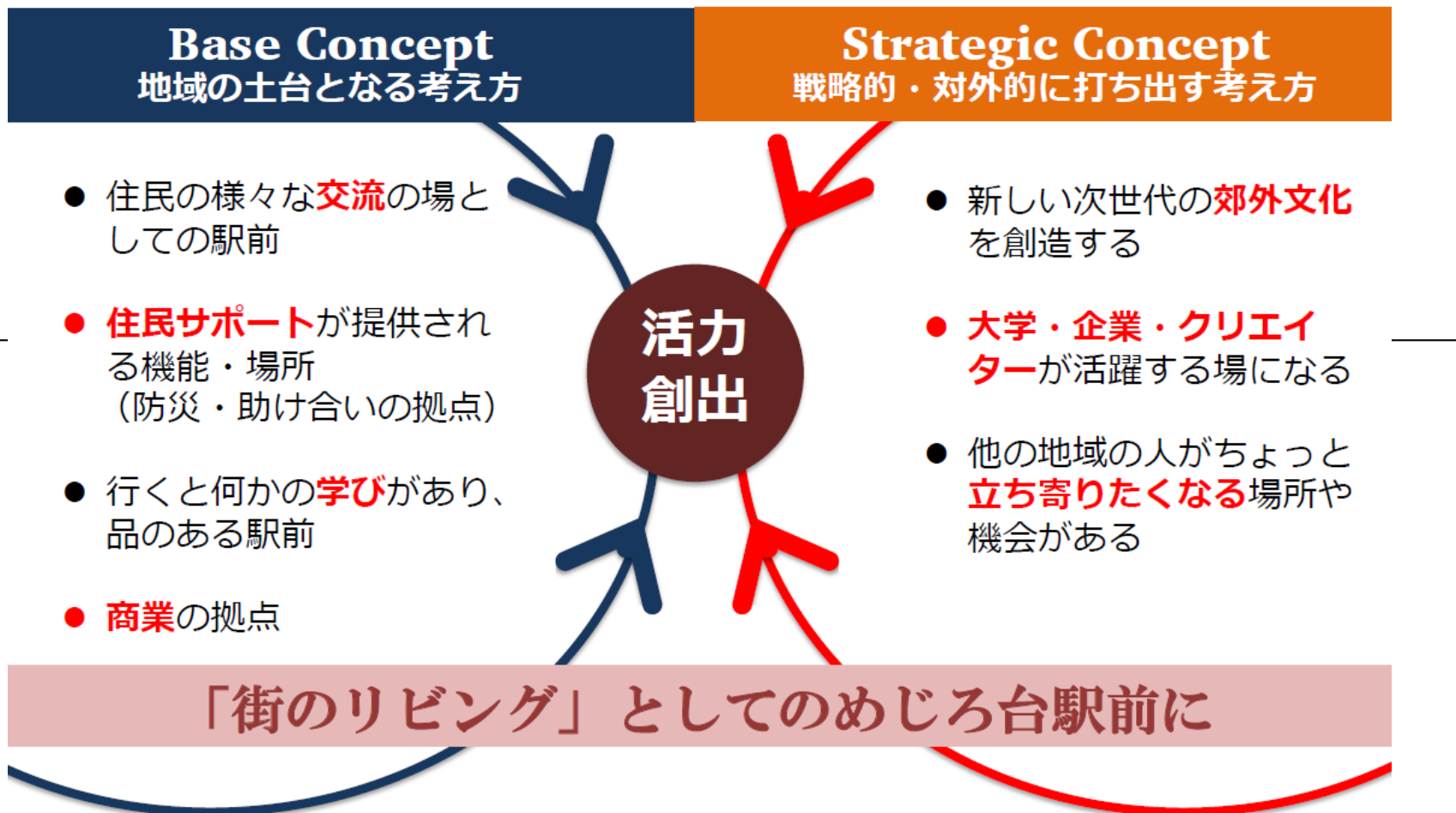
2021年4月18日駅前活性化WG

駅前活性化に関する基本的な考え方（案）

1. 駅前は地域の最大の拠点として、地域内外の住民が多様なコミュニケーションを図り、コミュニティを形成していくための拠点とします。
2. めじろ台駅前の活性化とは、商店街の活性化のみならず、新たな文化を育み、様々な交流の機会を通じた魅力が形成されている状態を指します。
3. 駅前活性化は地域住民を主体とし、関係する企業や組織、大学、市とも連携しながら行います。
4. そして駅前のまちづくりを通じて、地域住民のみならず他の地域の人にとっても魅力的と感じられるまちとしていくことを目指します。

めじろ台駅周辺地区まちづくりのコンセプト（案）

まちづくりのコンセプトを「街のリビング」とし、土台となる考え方と、戦略的・対外的に打ち出す考え方を提示します。



活動計画（案）

今後取り組むべき活動について、時間軸（短期－長期）、コスト（低－高）の区分して整理し、活動計画を組み立てます。

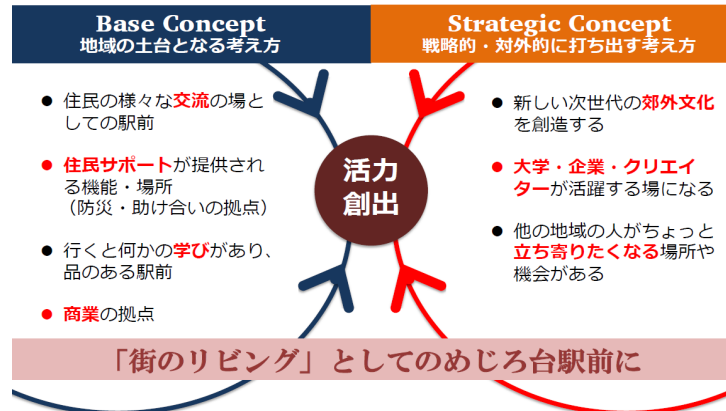
B B-1 コミュニティカフェ（商店街or駅前） B-2 駅前ステージ設置 B-3 駅前ベンチ・緑化推進	短期	A A-1 プレ調査（スペース・資源・人） A-2 まち歩きマップづくり A-3 空きスペース活用イベント （ストリートピアノ、マルシェ、作品展等）
	コスト大	コスト小
C C-1 サイネージ（駅前）設置 C-2 駐車場公園化事業 C-2 魅力発信（対外情報発信） C-4 駅前広場再整備（緑化・シンボルづくり等）	中長期	D D-1 街歩きガイドツアーの実施 D-2 ランニング・ウォーキングコースの設置

※注：各プロジェクトを推進するにあたっては、それぞれを担当するチームを組織する必要があります。

①活動に関する基本的な考え方について

めじろ台駅周辺地区まちづくりのコンセプト（案）

まちづくりのコンセプトを「**街のリビング**」とし、土台となる考え方と、戦略的・対外的に打ち出す考え方を提示します。



1. 駅前**は地域の最大の拠点**として、地域内外の**住民が多様なコミュニケーションを図り**、コミュニティを形成していくための拠点とします。
2. めじろ台駅前の活性化とは、商店街の活性化のみならず、**新たな文化を育み**、様々な**交流の機会を通じた魅力が形成**されている状態を指します。
3. 駅前活性化は**地域住民を主体**とし、関係する企業や組織、大学、市とも**連携しながら**行います。
4. そして駅前のまちづくりを通じて、**地域住民のみならず他の地域の人のためにも魅力的と**感じられるまちとしていくことを目指します。

「経済的活性化を目指す活動」と「住民のための活動」の兼ね合い

（まずは住民間でできることから考えたいというご意見）

- ・まず住民としてさらに住み良いめじろ台になって欲しいというモチベーションの方もいる
→将来的な経済の礎作りも同時にやっていく必要がある
- ・経済的な部分は住民だけで考えることが難しい
まず**住民のための活動を小さく生んで、できることから始め、その後大きく育てるという考え方でもよいのでは**
- ・駅に来た人を足止めすることが集客面での一つの達成なのでは。
- ・次の世代を見据えた活動だけでなく、住民活動の積み上げから将来像を考えていく

（持続可能性の高い活動のために経済の活性化を見据えたコーディネートが必要というご意見）

- ・持続的な活動にしていくためにはお金では得られない**価値豊かさを求める部分（まちづくり的考え方）と経済の活性化を目指す部分（町おこしの考え方）両方考える必要がある**
- ・時間軸とコストによる整理だけでなく、経済的活性化の折り込み方も考えるべき
- ・駅前活性化班はまちのコーディネーターとして住民への交渉だけでなく、**外部のお客さんを引き込む役目を担うべき**
- ・人を集めるイベントをすることが必要

②今後取り組むべき活動について

活動計画（案）

今後取り組むべき活動について、時間軸（短期～長期）、コスト（低～高）の区分して整理し、活動計画を組み立てます。

B B-1 コミュニティカフェ（商店街 or 駅前） B-2 駅前ステージ設置 B-3 駅前ベンチ・緑化推進 コスト大	短期 A A-1 プレ調査（スペース・資源・人） A-2 まち歩きマップづくり A-3 空きスペース活用イベント （ストリートピアノ、マルシェ、作品展等）
	コスト小 D D-1 街歩きガイドツアーの実施 D-2 ランニング・ウォーキングコースの設置
C C-1 サイネージ（駅前）設置 C-2 駐車場公園化事業 C-2 魅力発信（対外情報発信） C-4 駅前広場再整備（緑化・シンボルづくり等）	中長期

※注：各プロジェクトを推進するにあたっては、それぞれを担当するチームを組織する必要があります

どこから進めるか

- ・ DをAと一緒にやる
- ・ プレ調査をすれば新しい発見が期待できる

街歩きと街歩きガイドを一体として行う

- ・ 街歩きマップと街歩きガイドは一体となってもすぐできるのでは、実験的に実施
- ・ めじろ台内の町丁目単位で他の町丁目の人を案内するような小さな活動から始めてもよいのでは

コミュニティカフェ

- ・ 貸し出せるベースの整備をし、リーシングする形ならリスクも少なくやってくれる人もいるのでは。
- Ex) 曜日ごと開くコーヒー屋
- ・ 会館の庭を用いる可能性

現地・近隣調査予定

現地調査：4月29日
 近隣視察：（藤が丘、南万騎が原、左近山団地）
 5/9、22

参考事例

ストリートピアノ事例：
 新百合ヶ丘（デッキ周辺エリアマネジメントの一環）
 弾いてくれる人を探すのが大変
 コミュニティカフェ事例：左近山団地の商店街内

[3] 拡大医療・福祉

山川、笹淵、下島、加藤、山本、矢崎、萩原、伊藤、
小林、中村、小泉、瀬戸口、鈴木（2021年4月25日）

○安心・安全な横断歩道

- ・ 渡り切る前に信号が変わってしまう
→ **早急な対応**が必要
- ・ **4秒程度**の追加？ 渡り方も考える必要あり？
- ・ 加えて、**段差**も危険 △アシスト自転車や車椅子
→ 信号に限らない**全体のバリアフリー**
- ・ **まずは会館**から？ 現状を把握する調査も必要
- ・ 予算も関わってくるため、**少しずつ整理**する

○まちなかベンチ

- ・ 高齢者が歩行中に休めるベンチ
→ **住みやすい、歩きやすい街に**
- ・ ガードレールに付随した腰掛も検討
- ・ **点在**することが重要、遠くまで歩ける安心感
- ・ 老朽化した**駅前ベンチの改善**
→ まちの象徴にしたい、**1班と連携**

○困ったときに役立つ！

情報マップ + 生活支援コーディネーター

- ・ 情報マップは他地域のものを取り寄せて検討
- ・ スマホが使えなくても、**紙ベースで使いやすい**
- ・ コーディネーターは介護認定に至らなくても◎
- ・ **相談料は無料**、何か困ったら「**まずは包括！**」
- ・ **バードハウス**、**すずのなる木**も地域の居場所に

○コロナ禍のフレイル予防

- ・ 室内での転倒予防、スリッパやルームシューズ
- ・ **オンライン交流の場**
→ サロンに行けなくなっても**繋がれる**
※バードハウス、すずのなる木の広報が不足！？
回覧板に「**すずなる通信（A4判、定期発行）**」
- ・ 前回は**非常に好評**、次回を待ち望んでいる方も
- ・ 気軽に人と話せるありがたさ、**楽しく元気に！**

【[4]空き家・空き地+[6]住宅・空間合同】 議事録 2021.04.25.

東さん、十山さん、山宮さん、千明さん、榊原さん、斧林さん、大西さん、中村さん、田上さん、山崎さん、安藤先生、中川先生、島田先生
ファシリテーター：深井先生 記録：西山 東大IOG：金子さん、鈴木さん

最近の活動状況：マッピングは各丁目ある程度進んでいる

- | | | |
|-----|--------|--|
| 1丁目 | メンバー不在 | ・ 情報は少しずつ集まってきている様子。 |
| 2丁目 | 東さん | ・ 空き地空き家の調査カードを作成中。
・ 空き地空き家が壊されて新築される事例も目撃している。 |
| | 榊原さん | ・ 個人ではなく、町会単位で「お掃除隊」として活動する。 |
| 3丁目 | 山宮さん | ・ 空き地空き家のオーナーについて、すべてではないが現住所など把握し始めている。近隣住民と自然なコミュニケーションをとりながらヒアリング調査。
・ 前町会役員との協力のものと、空き地空き家の符合を行った。
・ 空き家オーナーに所有の意思があるケースも確認された。空き家に見えても週末のみ帰ってくるオーナーの実態も多いようだ。 |
| 4丁目 | 斧林さん | ・ 2-3丁目から地図をもらい、同じ形式でマッピングを検討している。少しずつ情報を集め始めている。 |

短期的な活動

GOAL：空き家空き地データベースの作成

- ・ **マッピング方法**：住宅の所有情報に合わせて5色でマッピング。（山宮さん）
- ・ **フォーマットの作成**：地図とは別に、オーナーさんの情報、登記関連、ニーズなどの情報を載せる共通データベースの作成が望まれる（大西さん）
- ・ **情報更新**：1-2か月で刻々と状況が変化する。班長や地区委員の協力のもと情報の収集、更新（榊原さん、山宮さん）
→ 調査カードなどを半年に1回など行うことで情報更新を図るのはどうか？（東さん）
- ・ **情報収集**：登記簿情報はある程度入手可能だが、行政から電話番号等の個人情報基本開示することはできない
→ 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法の利用検討
- ・ **情報収集**：近隣住民は緊急時対応のために連絡先を把握している場合も多い（山宮さん）

大月先生コメント

- ・ 空き家のための委員会との協力
- ・ IOG金子さんがマッピング得意！

データベースの先の活動について

空き家空き地の活用

- ・ 住民の利用ニーズとオーナーの活動ニーズとのマッチング活動（中川先生）
- ・ 空き家空き地のニーズは一定ある。住民の利用希望のリストなどもあればいいか？他班で利用希望があるかも（大西さん）
- ・ 他地域での空き家空き地活用事例を整理し、活用案の検討作業。実際にオーナーさんへ活用の検討を促す資料にもなる（中村さん）
- ・ オーナーは活用に消極的、ここを変える活動???

空き家空き地の管理

- ・ 落ち葉等の清掃などの活動（実際に昨年も行うことができた）（東さん）
- ・ 近隣住民へのヒアリングにより、空き家になる前の情報収集（最近入院したよ、的な）（斧林さん） → 予防の活動

継続的な活動のために

- ・ 今後どのような主体が活動を行うか？負担軽減、活動波及のためにも町会単位で行いたい（山宮さん）

めじろ台まちづくり協議会 4班・6班合同WGの今後の検討について

空き家・空き地のデータベース・マップの作成

- 空き家・空き地実態調査の実施(町会と連携)
- 空き家・空き地のデータベース・マップの作成

□ : 検討中のテーマ・内容

※空き家の定義が必要

※使い方の情報提供も必要

空き家・空き地のオーナーニーズの把握

- アンケートなど、調査方法の検討
- 活用できる空き家・空き地の掘り起こし

地域ニーズの掘り起こし

- 他の班の検討等からニーズ把握(把握方法を含めて検討)

空き家・空き地の活用方向の検討

- どんな活用が求められているのか?

検討材料の整理

- 空き家・空き地の活用事例
- 法的課題の整理(用途地域、地区計画)
- 代替ルールの研究(緑化協定や景観協定など)

実現するための課題と対策の検討

- 法的対応(用途地域、地区計画)、代替ルール、改修コスト、運営主体など

※多様な住宅供給やロードサイドの土地活用の推進から地区計画の見直しの議論が出てきた

モデルスタディ(鎌倉台の事例参照)

- 活用意向のある空き家や空き地で実験的に試行
- ※法的に可能な範囲で

地区計画等の見直し案の検討

- 地区計画見直し案(例)エリアを限定して用途の緩和、敷地規模の緩和
- 代替ルールの検討

背景: 高齢化→10年経つと、、、 →多世代交流の必要性

方針① 子育て世代にとっての住み良さをアピール、
新たな若い世代への情報発信(SNS、ホームページ)
→情報発信チームが発信するコンテンツの創造

方針② めじろ台内で、若い世代のためのイベント等による
生活の質向上
→具体的な活動案

方針①: 情報発信のコンテンツ案

- ・ 現在ばらばらに存在している各学校に関する情報のまとめ
- ・ 子供が欲しい文房具
学校で必要な文房具 に関する情報

方針②: 多世代交流のための具体的な活動案

- ・ 駄菓子屋さん
- ・ 食による多世代交流
(場所をどうするか? →会館の利用、個人宅の開放)
- ・ めじろ台祭りを、さらに交流の場に

若尾: 子育て情報が一元化、学校が分かれている→それらの情報を共有して発信すべき
タイムスケジュールをある程度決めておくことが必要。
アクションをしながら模索していくことが重要だけど、、、コロナで難しい。
情報発信の内容の検討はできるのでそれを進めたい。
具体的なイベント: ①: 駄菓子屋
②: 「食」を通じた世代の交流をしたい。
→これまでのワークショップ(atめじろ台会館)では、若い世代には浸透しなかった

大月: 正月あたりには活動再開できそう。コロナ禍でも計画するべき。
場所が課題。(→今の会館では設備面で難しい、、、他地区まで行く? 会館を見直す?)
→世田谷区、川崎の事例(子育てを終えた世帯のお宅を地域開放)
...施設を借りる必要が必ずしもない!

→個人のお宅を利用するなどの交流が増えると、子どもも含めた多世代が顔見知りになり
→安全な街に!

高安: できれば会館を使いたい。(好立地、広場の利用)
個人のお宅は、外から見えずらい。最初は心配。
会館で顔見知りになり→個人のお宅という流れが必要。

大月: 押沢台(オープンガーデンで主人が食事やお菓子を提供)の例など参考に

落畑: 小さいころ、会館でのイベントは少なかった。逆に友達の家が多かった。
子供を持った今では、子供を知らないお宅へ預けるのは心配。
祭りを通じて、親よりも顔見知りが多かった。⇒地域への愛着
地域への関りが持続しないことが課題(小3くらいまでしか地域に積極的じゃない)

大月: 受験システムが諸悪の根源の一つ

玄葉: 親子のソフトボール大会・めじろ台祭りなどによる地域交流をもっと
→駅前をもっと活発に利用したい。

お祭りの活用例

- 1 同窓会の場的な使われ方
- 2 役年(とある学年がお祭りの盛り上げ担当的立場に)

大月: 地域の路地へ入りづらい問題→【地域のスーパーの袋、犬の散歩、子ども】があれば大丈夫!

高安: 子供が欲しい文房具・学校で必要な文房具をまとめて発信したらどうか